

「お正月飾り商戦」11月下旬よりスタート  
“羽子板”、“破魔弓”の準備活況

赤ちゃんが誕生して、初めてのお正月に向けて贈られるのが、「羽子板」と「破魔弓」です。（※別紙参照）日本人形業界では、11月下旬から12月中旬が、これらの商品の販売ピークに当たり、節句人形店では商戦に向けての準備が活況です。

そこで、一般社団法人日本人形協会（所在地：東京都台東区、会員加盟店数：全国373社）では、第1回「お正月飾り写真コンテスト」の優秀作品7点（応募総数175点）でポスターを製作し、全国の加盟店などに配布、店頭における商戦ムードのさらなる盛り上げを図ります。

初正月は、お子様にとって、一生に一度の大切な行事です。少子化の今こそ、赤ちゃんの健やかな成長を願って、「羽子板」や「破魔弓」を飾る意義を、全国各地のご家庭に認知して頂けるよう、報道関係者様のお力添えを、何卒よろしくお願い致します。



羽子板



破魔弓



店頭ポスター

【 本件に関するお問い合わせ先 】

一般社団法人 日本人形協会 <http://www.ningyo-kyokai.or.jp/>

広報委員長・副会長 倉片 順司（くらかた じゅんじ）

TEL：04-2993-1351 E-mail：j-ku@k-doll.co.jp

※緊急の場合/倉片携帯：090-313-6088



# 一般社団法人日本人形協会 概要

名 称 : 一般社団法人日本人形協会

設 立 : 1973年10月

所 在 地 : 〒111-0052 東京都台東区柳橋2-1-9 (東京卸商センター 4F)

電 話 番 号 : TEL. 03 (3861) 3950 / FAX. 03 (3851) 8248

E - m a i l : office@ningyo-kyokai.or.jp

目 的 : 日本人形類に係る関連産業の健全な発展を図り、我が国伝統工芸産業の振興と、国民生活の文化的向上に寄与する。

役 員 : 会 長 金林 健史

副 会 長 柿沼 正志、倉片 順司、小出 康雄

専務理事 小菅 克祥

常務理事 駒田 健治

会 員 数 : 373社

◆一般社団法人 日本人形協会 広報委員会名簿 (平成 26 年 10 月現在)

本部広報委員会

	社名	氏名	〒	住所	電話
委員長	(株)倉片人形	倉片 順司	359-0034	埼玉県所沢市東新井町 283	04-2993-1351
副委員長	(株)吉浜人形	神谷 毅	444-1331	愛知県高浜市屋敷町 1-5-14	0566-52-2111
本部委員	白石雑具(株)	白石 明史	422-8037	静岡県静岡市駿河区下島 384-1	054-237-2827
"	(株)マル武人形	関口 典宏	365-0037	埼玉県鴻巣市人形 2-1-8	048-541-3517
"	(株)忠保	大越 保広	343-0805	埼玉県越谷市神明町 1-39-2	048-962-1166
"	(株)東玉	戸塚 大輔	339-0057	さいたま市岩槻区本町 3-2-32	048-756-1111
"	(株)福田屋	河原 雅人	251-0053	神奈川県藤沢市本町 1-3-29	0466-23-3131
"	(株)成嶋	成嶋 祐介	300-0051	茨城県土浦市真鍋 6-29-53	029-821-0305
"	(株)増村人形店	増村 智章	540-0017	大阪市中央区松屋町住吉 1-8	06-6763-1870

# 地域広報委員会

	社名	氏名	〒	住所	電話
北海道	㈱カネイ小川	小川 良吉	060-0005	札幌市中央区北五条西 15 丁目	011-642-4111
秋田	㈱秋田人形会館	小倉 進一	010-0061	秋田市卸町 2-3-1	0188-63-5963
宮城	㈱マリヤ人形店	亀山 政博	980-0811	仙台市青葉区一番町 4-5-21	022-222-7597
山形	㈱阿部玩具	阿部 龍太	990-0071	山形市流通センター 1-6-3	023-633-3121
福島	㈱人形の東月	脇山 智彦	970-8033	福島県いわき市自由ヶ丘 61-7	0246-28-3675
群馬	㈱晃月人形	渡邊 忍	370-0841	群馬県高崎市栄町 15-20	027-327-2223
栃木	(有)藤沼人形本店	藤沼 邦男	327-0014	栃木県佐野市天明町 2719	0283-22-1175
茨城	㈱祐月本店	和田幾久郎	311-4164	茨城県水戸市谷津町細田 1-37	029-254-7733
千葉	㈱鯉徳	加藤 庄司	299-0111	千葉県市原市姉崎 1808-3	0436-62-4151
埼玉	㈱広田屋	齋藤 義夫	365-8514	埼玉県鴻巣市人形 1-6-18	048-541-8888
東京	㈱久月	横山 久俊	111-0052	東京都台東区柳橋 1-20-4	03-3861-5511
神奈川	㈱福田屋	河原雅人	251-0053	神奈川県藤沢市本町 1-3-29	0466-23-3131
新潟	㈱隆和堂	川上 雄	955-0095	新潟県三条市代官島 1599-1	0256-35-0989
長野	松葉弥	関 陸夫	386-0012	長野県上田市中央 3-6-3	0268-25-3355
山梨	人形の皇徳	坂井 敏郎	400-0854	山梨県甲府市中小河原町 1590	055-243-5033
富山	㈱高田卸方屋	高田 知木	930-0982	富山県富山市荒川 5 丁目 1-11	076-423-6124
石川	(有)人形の浅村	浅村 章弘	920-0854	石川県金沢市安江町 5-21	076-262-5415
福井	㈱コマヤ	佐々木健雄	915-0801	福井県越前市家久町 102-3-3	0778-24-3388
岐阜	㈱後藤人形	後藤 康彦	500-8885	岐阜県岐阜市大柳町 2-33	058-252-1526
静岡	(有)北村人形	甲賀峰子	421-0206	静岡県焼津市上新田 693-2	054-622-0435
愛知	㈱暮石人形店	暮石 智至	457-0008	愛知県名古屋市南区外山 1-2-43	052-822-9014
三重	㈱ヒロモリ	広森 重孝	510-0235	三重県鈴鹿市南江島町 18-30	059-386-5030
京都	田中人形㈱	田中 義則	606-8345	京都市左京区東大路通仁王門下ル	075-761-4151
大阪	㈱久宝堂	又吉 康隆	542-0061	大阪市中央区安堂寺町 2-6-21	06-6763-5045
奈良	㈱奈良ニシカワ	西川 悦徳	636-0246	奈良県磯城郡田原本町千代 579-1	07443-3-2001
和歌山	㈱をぐらや	土井 康生	640-8033	和歌山県和歌山市本町 2-6	0734-23-0393
兵庫	㈱岸本人形	岸本 和豊	675-1304	兵庫県小野市中谷町 298	0794-67-0062
鳥取	㈱人形のはなふさ	英 義人	680-0942	鳥取市湖山町東 3 丁目 1	0857-37-3300
島根	杉原人形店	杉原 邦彦	691-0001	島根県出雲市平田町 1215	0853-62-2057
岡山	山陽美工㈱	赤木 恭司	719-1156	岡山県総社市門田 300-1	0866-93-0911
広島	㈱藤娘	小田 洋史	734-0004	広島県広島市南区宇品神田 4-2-1	082-252-0299
山口	(有)さいとう	齋藤 文子	747-0033	山口県防府市上天神町 4-28	0835-22-1310
徳島	(有)河原玩具人形店	河原 利宗	770-0802	徳島市吉野本町 3-15-5	088-625-8166
香川	(有)加賀	福本 幹夫	769-0202	香川県綾歌郡宇多津町浜二番丁 11-3	0877-49-2114
愛媛	㈱村上鯉職商会	村上 正弘	799-0113	愛媛県四国中央市妻鳥町新浜 162-1	0896-58-2035
高知	(有)近森人形	近森 一生	780-8038	高知県高知市石立町 19	088-832-6258
福岡	㈱フジキ工芸産業	福田 喜作	834-0024	福岡県八女市津江 711	0943-23-6111
大分	人形のいわさ	岩佐 治	871-0058	大分県中津市豊田町 3 丁目	0979-25-0013
長崎	人形のたていわ	立岩 栄治	850-0876	長崎市賑町 4-1	095-821-3751
佐賀	㈱人形館ふじや	藤井 直樹	849-2201	佐賀県武雄市北方町志久 1916-1	0954-36-4426
熊本	(有)むろや	荒井 正俊	860-0004	熊本県熊本市中央区新町 4-2-40	096-354-6083
鹿児島	(有)人形のふくなが	福永富士男	890-0052	鹿児島市上之園町 27-9	099-258-0676

## ご存知ですか？破魔弓・羽子板を飾る意義。

「破魔弓」とは、読んで字の如く「弓で魔を破る」という意味がありますが、これと関わりが深いものに平安時代から伝わる「鳴弦(めいげん)の儀」があります。これは弓の弦を強く弾き鳴らすことによって、魔除け・邪気払いをするという大変意味深い儀式です。

今日の皇室においても、お子様が誕生して七日目に「読書・鳴弦の儀」が行われています。弓を用いた儀式としては、この他にも、正月にその年の年占いと厄除けの為にを行った「弓射(ゆみいり)」「や家を造る際の上棟式に、屋根の上に弓と矢を北東に向けて飾る「鬼門除け」」などがあります。

このように、縁起物として伝えられてきた弓と矢を組み合わせたものが、現代の「破魔弓」の基になっているのです。

「羽子板」と聞いて、だれもがまず頭に浮かぶのは「羽根つき」でしょう。室町時代にはこの羽根つきを「胡鬼(こき)の子勝負」といい、正月の年占いとして、末広りの形をした胡鬼板(羽子板)で胡鬼の子(羽根)をつき、その年の平安を祈願したといわれています。江戸時代には、胡鬼板(羽子板)に金箔を施した上に、宮中の左義長の儀式の風景を描いた「左義長羽子板」というものが、厄除けとして、貴族への贈り物に用いられました。「左義長」とは、正月の十五日に宮中で行われた魔除けの儀式で、今日、民間では「どんど焼き」などといわれ、注連縄(しめなわ)や門松などをお焚き上げし、その火で焼いた餅を食べ、邪気を払う行事として各地で行われています。

やがて、その羽子板に美人画などが描かれるようになり、江戸後期からは、押絵の技法を取り入れて現代の形になりました。

破魔弓も羽子板も赤ちゃんが誕生して初めて迎えるお正月に向けて贈られます。旧暦の十二月から一月の間は十二支による暦の上で「丑・寅」にあたり、いわゆる「鬼門(よくない結果が起こりやすい時)」の時期なのです。つまり破魔弓や羽子板には、その時期を生命力の弱い赤ちゃんが無事に通過できるようにという願いがこめられているのです。

なお、新暦の現代では、十二月中旬から一月十五日位までお飾りするのが、一般的なようです。



日本の伝統を大切に

一般社団法人 日本人形協会

[www.ningyo-kyokai.or.jp](http://www.ningyo-kyokai.or.jp)